

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ヒメウラナミジャノメ	タテハチョウ科	「蛇の目」(ジャノメ)の眼状紋	x	○	○	東日本各地
成虫発生時期(月)						
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12						
○ 食草		食樹	発生回数/年		越冬形態	
ススキほか			3~4		幼虫	



多摩川 中野島 7月17日(2016年)アカツメクサ



多摩川 中野島 5月1日(2022年) ナヨクサフジ



ダイセツタカネヒカゲ(天然記念物) 大雪山北海岳
7月19日(1970) 風がなくても地面にとまる時は体を横たえる



多摩川 中野島 5月15日(2019年)
ナヨクサフジ(紫)とキバナコスモス(黄)

ジャノメチョウの仲間は共通して、羽の表、裏、或いは両方に「蛇の目」とされる眼状紋があります。明るい草地を好む本種は4月末頃出現し、5月中旬に多摩川を紫に染めるナヨクサフジで盛んに吸蜜します。

本種のように明るいところを好むのがいれば、ひたすら日陰を好むのもいる、また、高山の植物すら少ないところに生息して体温を上げるため、地面にとまる時は体を斜めに横たえるという奇妙な習性(風を避けるためとも言われます)を持った変わり者までいてバラエティーに飛んでいます。

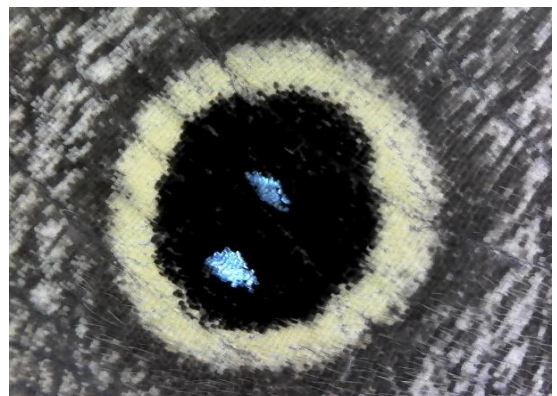
多くは幼虫時代ススキなどのイネ科の植物を食し、全体的には色も褐色で地味な印象を受けますが、トレードマークのような眼状紋にはよく見るとその中心部にアイシャドウのような青紫のポイントが配されていて目を引きまします。



多摩川 稲田堤
7月13日 (2019年)
ハルシャギク



多摩川 中野島
5月5日 (2022年)
ナヨクサフジ



眼状紋のクローズアップ



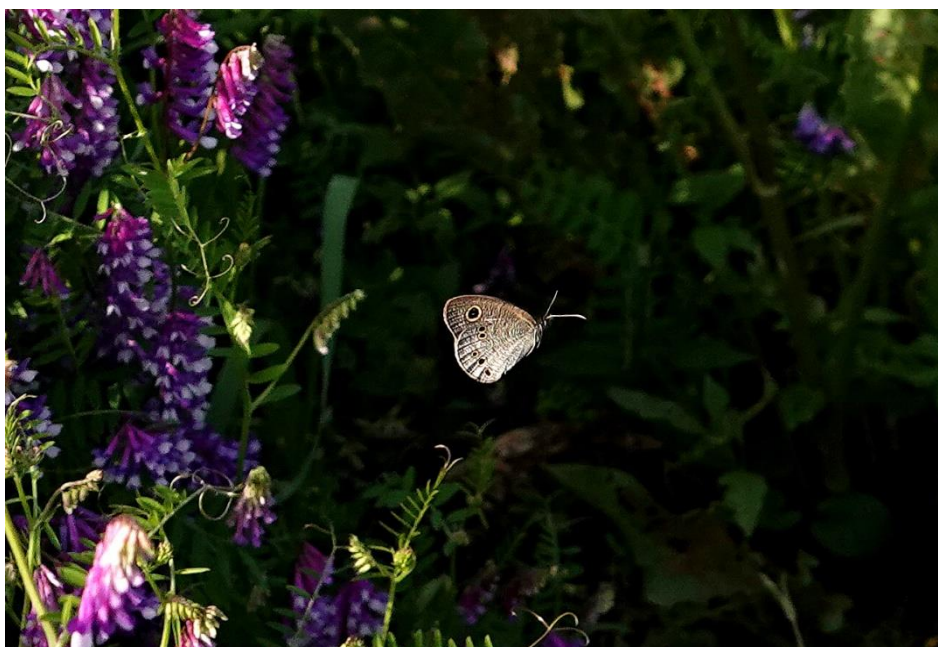
多摩川 中野島
5月1日 (2022年)

ナヨクサフジ



多摩川 中野島
4月28日 (2023年)

ハルジオン



多摩川 中野島
4月28日 (2023年)

ナヨクサフジの海を飛ぶ